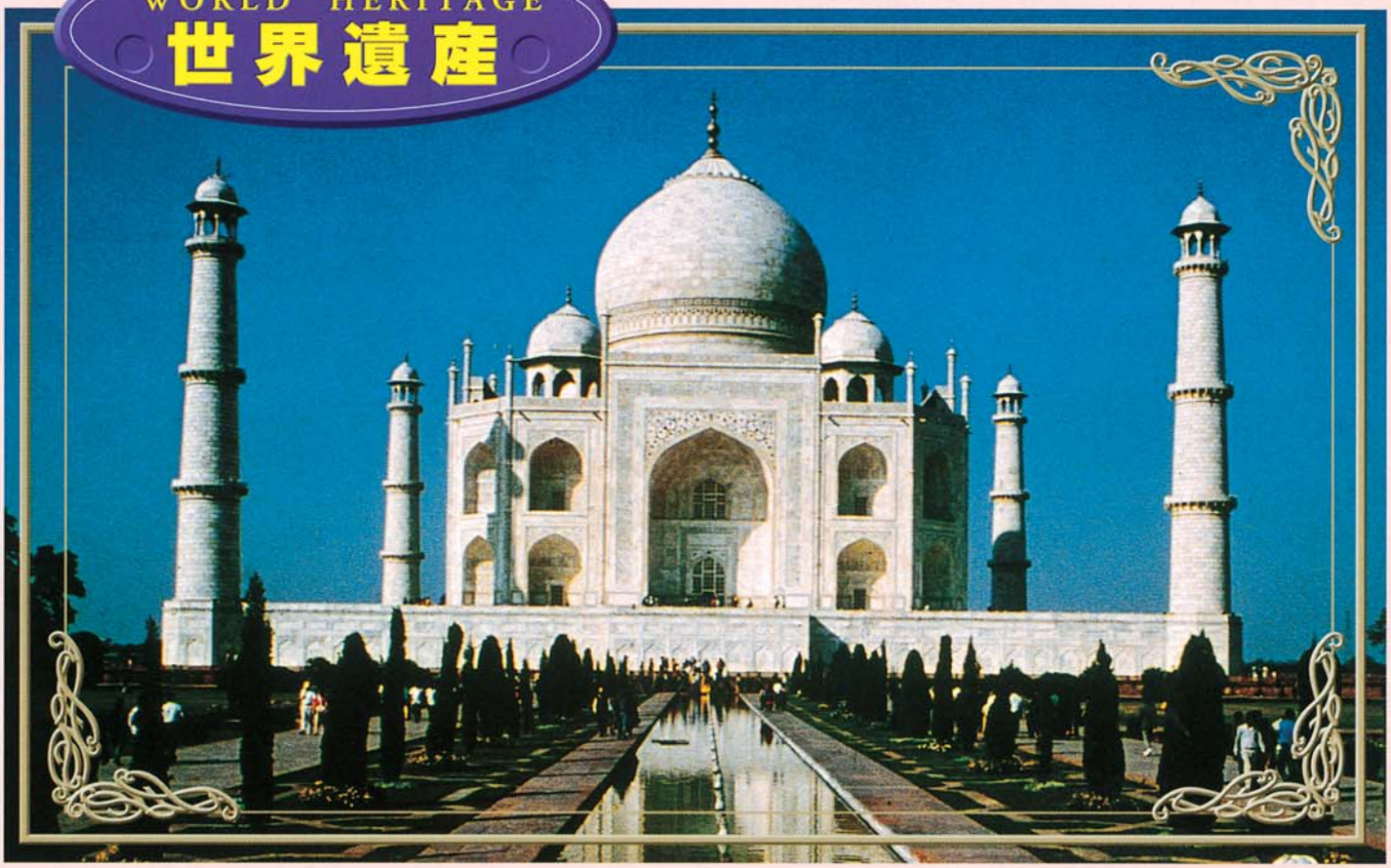
財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association

TIAニュース やあ！

2002
JANUARY
No.77
1

WORLD HERITAGE
世界遺産



▲《タージ・マハル》インド・アーグラーの新市街の東、広々としたヤムナー河のほとりにムガル皇帝シャー・ジャーハンの妃ムムターズ・マハルへの至上の愛を表現した墓タージ・マハルがある。世界各地から貴石が取り寄せられ、また職人が集められ、22年の歳月と天文学的な費用をかけて1653年に完成した。基壇の大きさは95m四方、本体は57mで、高さ67m、四隅の塔の高さは43mである。

青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介
シリーズ NO.24

西サモア

TIAホームページ
URL http://tia21.or.jp/
E-mail tia@tia21.or.jp

◆ ＪＥＴコーナー　ガース・ヘンダーソンさん（オーストラリア出身）

◆ レ　ポ　ー　ト　青年海外協力隊帰国報告会
発展途上国におけるプライマリーヘルスケアの実情
（東アフリカ編）

◆ 国際交流団体案内　特定非営利活動法人アジア医療援助の会

新年のごあいさつ

財団法人栃木県国際交流協会
理事長　　小　菅　　充

皆様、新年あけましておめでとうございます。2002年という新しい年が皆様にとりまして希望と幸せに満ちた年になりますことをお祈り申し上げます。また、日頃から当協会の事業や運営にご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

21世紀に入り、世界はますますグローバル化され、いよいよ本格的な国際化社会となってまいりました。昨年は、いろいろな事件や事故がありましたが、県内においては、外国人登録者数の増加やブラジル人学校の開設に見られるように、確実に国際化が進んでいるように思います。

このような地域の国際化が進展していく中で、多くの小中学校において国際理解教育についてのさまざまな取り組みがなされたり、世界中の十代の子どもたちを集めた「宇宙船地球号こども会議」が開かれるなど、着実に地域の国際化に対応した事業が行われていることに心強さを感じております。

私ども国際交流協会としましては、地域の国際化を推進するためさまざまな事業を行ってまいりましたが、これまで以上に、小・中学生に対する国際交流や国際理解に関する取り組みに力を入れたり、新たな事業として、高校生のための国際理解クラブ「クラブ・リセ」を創設し、活動を始めました。また県内に住む外国人の生活ぶりや思いを紹介する「ＴＩＡニュースやあ！onＴＶ」のテレビ番組づくりも始めました。

これらの事業が外国や外国人についての理解を深め、世界に開かれた地域づくりの一助になればと願っております。

外国人と地域の人々が、お互いを理解し合い、助け合っていける地域社会を築いていこうとする時代の流れの中で、県内の各国際交流団体や県民の皆様のお力添えをいただきながら、地域の国際化をさらに進めるため業務に取り組んでまいりたいと考えております。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

I want to begin by wishing everybody prayers for your continued happiness and prosperity in the New Year,2002. Also,I want to express my sincerest thanks to you all for your continued help and cooperation with this Association.

We have entered in to the 21st Century and we are witnessing a rapid "Globalization" in the world. More and more, we have become a genuine example of Internationalization in society.　Last year we saw a variety of tragedies in the world, but even still, this Prefecture has seen an increase in the number of Registered Foreign residents and even the opening of a Brazilian School. This would indicate that we are certainly an Internationalized society.

As we advance further into the new Millennium, we are constantly reassured of our commitment to Internatinalization. Many Elementary and Junior High School hold various gatherings into an effort to promote Internatinal Understanding through education. The "Earth is Our Spaceship" event also gathered together teenagers from around the world to further their understanding of each other. Although we at the International Association did our part with these various events, we are also embarking on new ideas with the Elementary and Junior High Schools, helping them take part in cultural exchanges and projects developing　International Understanding. We have also created a Cultural Understanding Club for High School students, called "Club Lycée ". We have also started up a television program called " TIA News yah! On TV " to introduce everyone to the lives and thoughts of foreign people and cultures, as well as open up the world to us all.

These days we are trying to build a society of foreigners and locals helping one another, understanding one another. With the help of every International Relations facility and citizen of Tochigi I want to continue along this path of progress , committing us to the Internatinalization of Tochigi.

I want to thank you all for a prosperous year in 2001.

Mitsuru Kosuge,
Chairman of Tochigi Internatinal Association

タイのお正月

タイには３回お正月があります。１月１日は、日本では元旦にあたりますが特別お祝いをするということもなく静かです。一般には２日から通常営業となります「サワディ・ピーマイ・カップ」（日本の「あけましておめでとう」の意）と新年の挨拶をします。

２月には中国正月がありますが、お祝いをするのは中国系の人達だけです。タイの都市部に住んでる人や商売人はほとんど中国系の人達です。大半の会社や商店は数日間休みとなり、人々は中国寺院に初詣に行き豚の頭や饅頭などのお供え物をします。

タイ人のメインとなるのは、タイ正月（ソンクラーン）で、４月13日から15日まで祝日となります。これはバラモン暦の新年で、水かけ祭りが行われます。日本と同じように若い女性は伝統衣装を着てお参りしたり、年始回りをしたりします。この点は日本の習慣とも似ています。この３日間は水をかけられても怒ってはいけないことになっています。大きな水がめで、誰かれ構わず、道路を歩いてる人達に水をかけまくります。特にチェンマイの水かけ祭りは有名で、全国から多くの人が集まり、往来で水の掛け合いをします。水は、タイで不幸を流すといわれているので、思いっきりかけあいをするのです。ソンクラーンの時期にタイに行く人は、大切な服を着て歩かないほうが無難です。

TIAのホームページのアドレスが変わりました

http://tia21.or.jp/

になりました。イベントカレンダー、国際理解、みんなの掲示板、各言語別事業案内もあります。是非ご覧になってください。

JETコーナー

外国語指導助手
ガース・ヘンダーソンさん
（オーストラリア出身）

みなさんは楽しいクリスマスと素晴らしいお正月を過ごしましたか。わたしは、太陽の地オーストラリアのゴールドコーストの出身、現在藤原町に住む２年目のＡＬＴです。みなさんがこの記事を読んでいるころ、たぶんわたしはゆっくり鬼怒川の露天風呂にでも浸かりながら、雪の舞いを楽しんでいることでしょう。

露天風呂を楽しんでいると変な感じがします。それは、わたしが日本人ではないということではなく、クリスマスやお正月に雪が降っているからです。多くの日本人はオーストラリアの季節が日本とは逆で、クリスマスやお正月シーズンは暑い夏であることに気がついていません。オーストラリアはこの寒い季節から逃げられる地球上で数少ない場所なのです。

もちろん、サンタクロースは存在しますが、トナカイやソリには乗っていません。その代わりに、肩にプレゼントの入った袋をかけ、赤い衣装を着て、サーフボードに乗って、サーフィンをするサンタをみることができます。子どもたちはクリスマスイブの夜、靴下をぶら下げ、トナカイにはクッキーやニンジン、サンタクロースにはビールを置いてベッドに入ります。

日本とは違い、クリスマスは国民の祝日で、ビーチに行ったり、バーベキューやピクニックを楽しんだり、プールで泳いだりと、家族や親戚の人たちと休暇を楽しみます。また多くの家庭は、家や庭を飾り、クリスマスデコレーションコンテストに参加します。またそれらの家は自由に見学が出来るので、家族や恋人と歩き回ってデコレーションを楽しむこともできます。

日本のお正月のお祝いを２度経験し、オーストラリアとは過ごし方がとても違っていることに気づきました。日本では、大晦日に紅白歌合戦をみたり、新年には神社へお参りに行ったり、初日の出を楽しんだりしているようです。ゴールドコーストや世界の多くの国々では新年はパーティーのような雰囲気で迎えます。友達と出かけ、ビーチで新年を祝う花火を見たり、朝方までパーティーをして楽しみます。

多くのオーストラリア人は“ホワイト・クリスマス”を経験したことがないと思います。私自身も二年前まではありませんでした。50センチも積もった雪の上で転ぶことがどれくらい痛いかも知りませんでした。今だから言えますが、かなり痛いですよ。

クリスマスは日本で過ごし、お正月はスキーをしていました。また、“ホワイト・クリスマス”を経験できればと願っています。“オーストラリアのクリスマス”や夏のクリスマス”を知らない方は、是非一度は経験してみてください。

最後にオージィーリンゴ（オーストラリアのスラング）をちょっと紹介しましょう。

クリスマスはクリッシー、

プレゼントはプレッジィー、

オーストラリアンはオージィーと言います。

皆さんはたくさんクリッシー・プレッジィーをもらったでしょうね。

それでは、今年も皆さんにとって平和で幸せな年でありますように。

Greeting for New Year

Did you have a magnificent Christmas and fabulous New Year? I did!!!!!!

I am a second year ALT currently living in Fujihara (Fujiwara) but my hometown is the magnificent and sunny Gold Coast in Australia. As you are reading this, I will probably be soaking myself in one of the Kinugawa Rotenburo's, while snow falls down around me.

I feel strangely out of place here. Not because I am the only non-Japanese in the Rotenburo, but because it is snowing over Christmas and New Year!!! Many Japanese don't realize that Australia's seasons are opposite to that of Japan, which means that we have a hot, summery Christmas and New Year. Australia is one of the few places on the planet where you can escape the cold.

Yes, we have Santa Claus, but he does not have a sleigh or reindeer. He surfs in on his surfboard, in his red suit with his bag of presents slung over his shoulder. Before children go to bed on Christmas Eve, they hang up stockings and leave out a plate of cookies and carrots for the reindeer, and a bottle of beer for Santa.

We spend Christmas Day with our family and relatives. Unlike Japan, Christmas Day is a public holiday in Australia so we often go to the beach, have a BBQ (barbecue) / picnic or swim in the pool. We like to take it easy and relax. Many houses participate in Christmas house and garden illumination competitions. You are often free to visit these homes and walk around their garden with your family or boyfriend /girlfriend.

After seeing two years of New Year celebrations, I think that festivities in Japan differ quite significantly from celebrations in Australia. I believe that in Japan, many people visit shrines, watch Kohaku Utagassen and also watch the first sunrise of the New year. On the Gold Coast, like many other places throughout the world, it is more of a party atmosphere. People go out with their friends, watch the fireworks at the beach and party to the early hours of the morning.

Most Australians have never had a "White Christmas". I had my first "White Christmas" two years ago. I never knew what it felt like to fall down in 50 centimetres of soft snow. It HURTS, I tell you now!!!

I was in Japan for Christmas Day, and I spent the New Year skiing. I hope I can have another "White Christmas" again. For these of you who have never had an "Australian Christmas" or "Hot Christmas", please try to experience it at least once in your life.

Lastly,a bit of Aussie lingo (Australian slung)

Christmas = Chrissie

Present = pressie

Australian = Aussie

So,I hope you got a BIG ChrissiePressie!

Best wishes for the New Year! I hope it is a safe and happy one!

青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介　シリーズ　NO.24

西サモア WESTERN SAMOA

国名のサモアは「モア鳥のいる場所」の意味。ニュージーランドの北東約3000kmトンガ王国の北に位置する。ウポル島とサバイイ島など９島から成り、面積は日本の愛媛県の約２分の１の広さで、火山島と珊瑚礁からなる。

自給自足経済も残り、コプラ、カカオ豆、バナナ、木材などが主な産物。輸出品目の第一位はヤシ油。

イギリス連邦に加盟し、議会は一院制。

案内人

早乙女　良子さん（宇都宮市内在住）

協力隊に応募したきっかけは、大学卒業間近の頃、東南アジアに旅行し、子どもたちが一生懸命働く姿を見て感動。日本の子どもたちと比べてどちらが幸せか考えるようになり、途上国に行って、自分たちが見失っているものをみつけたいと思った。

1999年４月から2001年５月まで、西サモアの私立シャネルカレッジにて農業を指導。

技術・家庭科目としての農業

わたしのいたところは西サモア諸島のアピアという首都にある私立学校でした。西サモアでは、公立学校は学費が安いので大変人気はあるのですが、試験が難しく入りにくいとされています。わたしのいた私立シャネルカレッジは、シャネルという名の神父が創設したカトリック系の学校です。西サモアでは、お隣の国のニュージーランドの教育制度に従って、小学校８年間が終わっただいたい13歳から18歳ぐらいまでの者たちが、カレッジと呼ばれる中学校と高校を合わせたような教育機関で勉強します。私は、現地で農業を教えてきたわけですが、特に教科として農業という科目があったわけではなく、普通科のコースの中に日本でいう技術・家庭のような科目があり、その中の教育内容に農業というものが組み込まれていました。主に、現地では低学年には理科の内容のような土の成分や植物、花の器官を教え、どうやったら実が出来るかを指導しました。実習と講義を平行して行い、野菜の栽培を主に開墾から収穫まで指導しました。温暖な気候で、肥料をやらなくても育つ土壌のため、生育は非常に早かったです。

◀赴任先の学校の校舎（生徒数約400名）

▶農業実習をする生徒たち

西サモアの生活

西サモアでは、私立学校で指導していたので、寄宿舎のほうも学校所有の共同宿舎で生活していました。ここには、ＪＩＣＡのほかに、アメリカ人のボランティア組織の人達も一緒に住んでいました。現地での食事は自炊でした。西サモアの主食は、タロイモかバナナなんですが、住んでいたところが首都だったということもあって、輸入食品を売っている店があり、日本と同様ごはんにみそ汁の生活ができました。

▶一般家庭の食卓（右側の黄色のトレーの上がたろいも類）

西サモアでは、牛は冠婚葬祭用なので食べません。通常、豚かにわとりを家庭で育てて、それを食材としています。一般サラリーマンの家庭では、飼育が困難なので、ニュージーランドから輸入した羊の肉を食べます。

西サモアではニュージーランド人の食べない脂身の多い背骨の部分を輸入したり、ターキーテールやアメリカ産の鶏肉やフィジー、ニュージーランドからのコンビーフも好まれています。

サモア人の朝食は、バターをたっぷりつけたパンやクラッカーと西サモアで作られているココアやコーヒーを飲みます。輸入品ですが紅茶を飲む人もいます。昼食は、タロイモやバナナにカレーをつけて食べることが多いです。学校内では給食がないのでパンを売る業者が各種パンを売りにきます。ケケプアーと呼ばれる羊の肉を使ったパンを食べる人もいます。夜はカレー、野菜炒めや「オカ」というマグロのマリネ風にしたサラダを食べます。

▶サイエンスフェアー堆肥の成分の分析

サモアのお祭り

西サモアでは、６月初めに独立記念日があり、そのときに国を挙げてのお祭りを行います。この時は、国家元首も出席し、政府前広場で、各村からの代表団等が、踊りや歌を披露します。学校でも、毎年、チームを作って出し物を練習し、この時に発表します。

▶独立記念日の出しものの練習風景

▶市民の足のバス（週末買い物客らが乗り込む様子）

サモアの住居

▶一般の民家

住居は田舎と都市部では構造が違います。

都市部では平屋で壁があり、空き巣が多いため、鍵もかけられるようになっています。しかし地方の家屋は、やしの葉で屋根を作ったりした壁がない家がほとんどです。しかしながら、都市部とちがい住民同士の団結力があり、結束も固いので、不審者や空き巣狙いなどはすぐにわかるのです。

西サモアは大家族制

西サモアの家庭は日本ではあまりみられなくなった大家族制をとっています。だから食事の習慣も少し変わっています。

食事の順番は、はじめに大人が食べます。このとき、子どもがお茶や料理を運んだり、食事後に手を洗う水のはいったボールを持ってきたりします。料理は作るのは母親ですが、男の子が火の番をし、女の子が野菜切ったりする作業を行います。大人がごちそうさまの後、こどもが食事します。

▲各グループによる研究発表

サモア語について

サモアでは、もちろんサモア語が話されていますが、実はこの言葉文字のない言葉のため、口頭で伝承されたのがほとんどです。現在は授業ではローマ字標記で行われていますが、敬語等もあり、子どもが習得できない言葉も多かったのです。話し言葉はできても、正しいサモア語の話せる子どもが少なくなっているため、各学校では、サモア語の授業時間を設け、正式なサモア語を教えています。

▶西サモアはラグビーがさかん

物価の高い西サモア

西サモアの主な産業は、タロイモやバナナのプランテーション農業ですが、都市部で働く人は圧倒的に公務員、銀行員が多い。必需品の大部分を、近隣諸国のオーストラリアやニュージーランドからの輸入品に頼っているため、物価が高く、近隣諸国に出稼ぎにいっている人達から援助をうけたりしているのが現状です。

宗教はキリスト教が大多数ですが宗派はカトリック、プロテスタントなど様々で、バハイ教の人もいます。日曜は、安息日ということで、みな教会にいきます。この日は、スポーツも踊りもしてはいけないことになっています。

◀学校祭のミス・コン

サモアは、昔、3つの島に分けられていました。

一つは、ドイツ領サモア、もう一つはニュージーランド領サモア、そしてアメリカ領サモアです。そのうち、1962年にドイツ領サモア及びニュージーランド領サモアが独立し、西サモアとなっています。しかし、東サモアと称されるアメリカ領サモアは、現在も独立していません。

▲タパー（紙）木の皮からたたいてのばす作業をしている

データ　西サモア

左上部4分の1は青地に白の南十字星。赤は勇気青は自由、白は純潔を表し、南十字星は南半球に位置し、近隣諸国との協力を表現。1962年制定。

①	面　積	2,935㎢
②	人　口	17万人
③	首　都	アピア
④	主要言語	サモア語、英語
⑤	民族構成	サモア人88%
⑥	宗　教	大部分がキリスト教
⑦	通　貨	タラ
⑧	元　首	大首長
⑨	その他	協力隊の派遣人数延べ385人 栃木県からは延べ6人

レポート

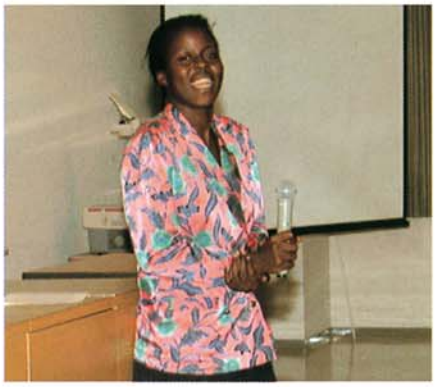
青年海外協力隊帰国隊員報告会

11月20日、大田原市の国際医療福祉大学の学校祭「風花祭」において、青年海外協力隊帰国隊員報告会が開催された。（主催：栃木県青年海外協力隊ＯＢ会、国際医療福祉大学）今回のテーマは、発展途上国におけるプライマリーヘルスケアの実情（東アフリカ編）で、青年海外協力隊の村落開発普及員としてマラウイで指導にあたられた草刈康子さんと同じく保健婦として指導されてきた松浦綾子さんが現地での事情を報告した。

草刈さんはマラウイ政府のジェンダー・青年・地域事業省のフィールドワーカーであるコミュニティ開発アシアスタントと一緒に社会福祉アシスタントを養成する訓練校で、識字教育やコミュニティ建設プログラム、人口教育プログラム及びローカルリーダーの育成について住民とともにすすめ、フィールドワーカートレーニングコースでは社会調査法を担当していたのだそうだ。

また、保健婦として派遣された松浦綾子さんは、マラウィについて、気候、人口、言葉、宗教から実際に指導した経験内容までわかりやすく語ってくれた。平均寿命が短いわけは、マラリアにかかることが多いからだとのこと。また、派遣先のヘルスセンターでは、公衆衛生や村の生活習慣改善について、トイレの普及や栄養改善、予防接種などを行ってきたことを実例を交えて説明した。

また、今回は特別講演として、平成13年度海外技術研修員として恩賜財団済生会宇都宮病院で看護婦の研修をしているパメラ・アヨー・オウマさんに、実際のケニアの医療状況について「ケニアにおける母子保健とＨＩＶ」というテーマで講演してもらった。



▲講演をするパメラ研修員

プライマリーヘルスケア（primary healthcare: 通称ＰＨＣ）について、予防だけでなく、健康増進、治療、リハビリテーションまでの一連の保健医療サービスであり、コミュニティーの人々に受け入れられ、利用する人々にとって経済的に支払い可能なケアであると語り、感染症対策、健康教育、栄養改善、予防接種、安全な水の供給と基本的な衛生、母子保健と家族計画などの基本活動項目を英語で説明した。また、ＭＣＨと呼ばれる「母子保健」の出産前ケアの内容、クリニックを訪れる際の検査項目、特にアフリカで多いＨＩＶの感染による母親への対処方法などについても話した。ＨＩＶに感染した母親から生まれた子どもに母乳を与えてしまうと子どもは生まれ付きの陽性のため、通常一年以内に死んでしまうのだそうだ。熱弁のパメラさんの講演に会場にいる人達も聞き入っていた。

その後、講評は元ＪＩＣＡ専門家でケニアで指導に当たっていた山崎放射線・情報科学科教授からあり、先生の体験談も交えながら行われた。

最後には、ぜひ海外の医療分野で活動をしてみたい人のために海外青年協力隊の応募相談会も行われ、積極的な聴講者からの相談もあった。

国際交流団体紹介

特定非営利活動法人
アジア医療援助の会

我々の活動は、平成９年３月よりパキスタン・パンジャブ州ラワルピンディ市郊外、南東約30kmにある無医村地区タラヒア村で、無料診療所を開設し、外来診療活動を行っております。

診療所の名前は、「タラヒアディスペンサリー」といい、内科診療、外科診療活動を毎週月曜日から金曜日までの午前９時より午後２時まで、日本人看護婦２人、現地スタッフ５名（医師１名、薬剤担当１名、受付担当１名、雑務担当１名、運転手１名）の少人数で、一人が何役もこなしながら、活動しています。

一日の患者数は、50km圏内約40の村や地域から、60～70名の患者が来院します。患者数は季節により変動がありますが、年々増えてきています。

この地域は、農村地域で不毛というわけではありませんが、毎年モンスーンがあり、水害に見舞われ、貧困農家が多く、経済的な理由から医療を受けることが出来ないようです。また、女性が急病にかかったりした場合、ラワルピンディのような大きな都市に行くには、家族の付添いが必要であり、一人では出かけることができず、手遅れになるケースがありました。（イスラムの教えでは、女性が外出するときは、夫又は家族の男性の同伴が必要とのことです。）村に診療所ができたことで、無料で医療が受けられるようになり、住民からは感謝されています。

▲現地で治療に当たる日本人看護婦ら

我々の活動では、高度な医療行為を行うことはできませんので、投薬治療やリハビリ治療、公衆衛生活動が主な活動となっております。

我々のこの活動も５年目を迎え、やっと地域住民との信頼関係もでき、今後は公衆衛生の普及活動に励んでいきたいと思っています。

なお、現在（2001年12月）アフガニスタンの戦争により、日本人スタッフの派遣が行えず、現地スタッフのみでの活動となっております。一日も早い戦争の終結と平和の実現を願っております。

問い合せ先：特定非営利活動法人アジア医療援助の会　事務局　田口℡0285-45-7711（光南病院内）

情報発信 地域の国際交流案内

★アジア学院（アジア農村指導者養成専門学校）農村開発科２００２年度学生募集！

アジア学院ではアジア・アフリカの農村地域からの農村リーダーと共に１年間暮らし持続可能な農業と農村開発について学ぶ日本人学生を募集しています。

▶主な研修教科＝指導者論、開発論（世界経済と世界化、食糧問題と栄養、環境と開発、人権問題、平和問題等）、持続可能な農業、調査法と報告書指導、農村調査研究農村開発と共同体組織、小規模開発プロジェクト、実習及びプロジェクト（蔬菜作物畜産、養魚、食品加工）研修旅行（農村調査研修、西日本研修旅行）▶海外研修＝将来発展途上国での活動につながる、より実践的な経験を習得するために、フィリピンネグロス島にて、約２か月間（2003年１月～２月）農場実習セミナー企画、実行、農村調査、ＮＧＯ及び政府開発関係機関の見学訪問、地元農民との交流等を行う。▶研修期間＝2002年４月１日より１年。海外研修の期間を含む。▶募集締切り＝2002年３月15日▶お問い合わせ＝アジア学院〒329-2703　栃木県那須郡西那須野町槻沢442-1 TEL.0287-36-3111　FAX.0287-37-5833 e-mail: ari@nasu-net.or.jp　ホームページ：http://www.ari.edu/

★第５回国際協力大学生論文コンテスト

▶応募資格＝大学（短期大学を含む）もしくは大学院（修士・博士課程）に在籍の方。国籍は問いません。▶テーマ＝（研究論文部門）開発途上国が抱える課題克服に向けた国際協力の取り組みに関することについて、以下の分野から選び自らの研究の成果を論じてください。「開発援助」「環境」「貧困」「教育」「人口」「ＷＩＤ（開発と女性）」「農林水産業」「保健・医療」「工業開発」「参加型開発」「平和構築」（小論文部門）国際協力、日本と開発途上国との関係、国際ボランティアあるいはＯＤＡ（政府開発援助）の今後のあり方等について、自らの体験に基づいた提言、主張意見等を論じてください。▶応募規定＝（研究論文部門）日本語または英語で執筆することとし、図表、注釈、参考文献等、研究論文としての体裁を整えることを条件とする。日本語の場合、12,000字以内。英語の場合4,200語以内。（小論文部門）日本語または英語で執筆すること。日本語の場合、4,000字程度。英語の場合、1,400語程度。▶募集期間＝平成13年10月15日（月）～平成14年２月28日（木）必着。▶入賞発表＝平成14年６月。入賞者には直接文書にて通知。また、「国際協力」誌上にても発表。▶問い合わせ及び応募先＝〒163-0489東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル内私書箱300号財日本国際協力センター広報部内「JICA国際協力大学生論文コンテスト」係 TEL:03-5322-2541 FAX:03-5322-2550　EMAIL:ronbun@jice.org

★“ボランティア通訳ガイド”「英語」セミナー

▶内容＝ボランティア通訳ガイドとして活躍するために必要な英語力と知識・教養の習得を目指します。▶期間＝（第１期）初級コース　12月～２月（６回シリーズ）（第２期）中級コース　３月～５月（６回シリーズ）▶日時＝毎月、第１・第３木曜日 10:30 ～12:30 ▶場所＝とちぎ国際交流センター（ＴＩＡ）（予定）▶定員＝30名▶費用＝各期6,000円（教材費、資料代を含む）▶講師＝とちぎ通訳ガイド協会（TIGA）スタッフ▶申込み・問い合わせ＝とちぎ通訳ガイド協会野中忍TEL&FAX028-635-2579斉藤義夫TEL&FAX028-673-4760

★平成13年度「青少年国際交流推進者セミナーIN東京」

▶テーマ＝「発見、発想の３日間」▶日時＝2002年２月８日（金）～10日（日）▶場所＝独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター▶参加対象＝地方自治体、民間等の団体やグループで青少年交流や国際理解・交流・協力活動、地域の国際化のための諸活動に取り組んでいる担当者およびボランンティアなど。▶募集定員＝100名程度▶主催＝内閣府、社団法人青少年育成国民会議▶応募締切＝平成14年１月25日（金）ただし募集定員になり次第締切 参加費＝参加登録費として5,000円。宿泊代4,300円食事代6,310円▶事業のお問い合わせおよび参加申込書の送り先＝〒151-0052東京都渋谷区代々木神園町3-1 国立青少年センター内　社団法人青少年育成国民会議「青少年国際交流推進者セミナー」係 TEL:03-3460-4151　FAX:03-3460-1603　E-MAIL:nobinobi@nayd.or.jp

★ピースボート第37回地球一周船の旅

地球各地の寄港地のＮＧＯや学生たちと交流しながら、草の根交流をするクルーズ。▶予定寄港地＝アジア・欧米・アフリカ▶予定期間＝2002年５月２日～８月14日▶問い合わせ先＝ピースボート事務局〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-14-3-2F TEL.03-3363-7561/FAX.03-3363-7562 ホームページhttp://www.peaceboat.org/

宇都宮↔羽田空港
（直通高速バス　１日６往復）
宇都宮から羽田空港へ直通バス運行開始

●柳田に専用駐車場（210台）完備　1日200円
●運賃 大人片道 3,500円 小人半額・税込
●所要時分 150～190分
●お問合せ・ご予約は羽田空港行予約センター ☎(028)639-6700

羽田空港行						
柳田(柳田大橋西)発	3:05	3:45	4:35	5:35	8:35	15:35
JR宇都宮駅発	3:20	4:00	4:50	5:50	8:55	15:55
東武宇都宮駅西口発	3:23	4:03	4:53	5:53	9:00	16:00
羽田空港着	5:40	6:20	7:10	8:30	11:40	18:40

宇都宮行						
羽田空港発	10:00	14:35	18:00	19:30	21:10	22:40

（平成13年７月11日現在）
関東バス

栃木県交響楽団　第72回 定期演奏会

曲目　バーンスタイン／歌劇「キャンディード」序曲
林 光／オーケストラのための童話「セロ弾きのゴーシュ」
ドヴォルザーク／交響曲第９番「新世界より」

チェロ 藤原　真理

指揮 荻町　修

2/11（祝）
2：00PM　▷宇都宮市文化会館大ホール全自由席 ¥1,500 宇都宮市内プレイガイド・チケットぴあ
お問い合わせ　栃響事務局　☎028－643－5288

TIA Information Corner

TIAライブラリー案内

（貸出のお問い合わせはTIAまで）

●世界民芸曼陀羅

民芸品には私たちを引きつける不思議な力があります。そこには、手で触り、鼻で確かめ、親や師の技をなぞり習練して引き継がれた歴史と伝統が色濃く反映されています。今の世の中、民芸はいよいよ重要な役割を持って来ました。各民族が工業化社会以前に持っていたもの、音楽や美術、衣食住の民族の中に伝えていた異なった直感やイメージ、シンボリックなモチーフは、いまや消えていこうとしています。その反面、それぞれの国の固有の文化を民芸や芸能に求めようとする傾向があります。失いかけた伝承の力と活気を取り戻すということを表現した現代世界の民芸を、著者の経験や旅日記をもとに率直に書いた旅をしたくなる一冊です。

（進藤幸彦著・毎日新聞社出版）

●アメリカで医者をやるにはわけがある。

自分が開発した画期的な治療法を日本のお役所がなかなか認めてくれない。そんな折、アメリカの新設病院から誘いの声がかかった。小児科医の著者はこのチャンスに賭けた。しかし、厳しいアメリカの競争社会に移り住んだとたん、今までの日本特有の「和」を乱さなければ疎外されることはない、優しく甘い「村」社会で仕事をしてきたことをつくづく痛感してしまう。

「規則が人に合わないなら、規則のほうを変えればいい。」という国アメリカでは、入院患者も食事は家庭でとっていた時間に食べられるし、面会も自由。病院のスタッフの都合に合わせることはない。こんな医療事情から子育て、人々の暮らしまで描いた日米比較エッセイ集である。

（木村健著・草思社出版）

TIA日誌

2001年11月1日～2001年12月31日

11/1　県費留学生ミーティング（センター）
11/2　マラウイ大使協会理事長表敬訪問（センター）
11/6　海外技術研修員ミーティング（センター）
11/9　フランス・ヴォークリューズ高校生送別会（チサンホテル宇都宮）
11/11　国連協会英語検定（センター）
11/12　海外技術研修員・県費留学生県外視察（関西方面～16日）
11/24　クラブ・リセ第3回ミーティング（センター）
11/27　北関東三県国際交流協会担当者会議（大洗町～28日）
12/2　外国人のための法律相談（真岡市）
12/4　海外技術研修員ミーティング（センター）
12/6　県費留学生ミーティング（センター）
12/7　海外技術研修員受入機関等との打合せ（センター）
星が丘中センター視察（センター）
12/9　青年海外協力隊平成13年度秋一次選考（センター）
12/14　星が丘中センター視察（センター）
12/18　日仏青少年短期研修事業フランス派遣生徒選考会（センター）
12/20　浙江省定期協議団受入（～25日）

ＴＩＡ賛助会員募集中！

賛助会員になりますと、ＴＩＡの機関紙、各種刊行物、催事情報等が受けられます。またテレビ方式変換ビデオ（海外→日本、日本→海外）をご利用できます。その他会員証の提示により、指定店での割引等の特典もあります。年会費は個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円。

※賛助会費と出捐金の運用益は、ＴＩＡの様々な事業に使われており、地域の国際化のために役立っています。

＜新規賛助会員の方々＞

個人：鴫原拓也様、タニヤ・ゾック様、トライブ・ジェニー様、櫻井孝之様

～ご入会、ありがとうございます～

編集後記

○今月号の表紙はインド政府観光局からのお薦めの世界遺産といってもみなさん良くご存じの「タージ・マハル」を紹介しました。貴重なスライドをお貸しいただきありがとうございました。

○今回の青年海外協力隊帰国報告会は研修員の活躍で楽しいものになったそうだが、当日、講演した研修員の友人の外国人が予定時刻になっても来ない。みんな心配していたところに本人が到着。聞けば、バスで来た！とけろっとしていて周りを唖然とさせたそうだ。本人はそんなに周りが心配するほどあせっていなかったらしい。

※財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人（寄附金の損金算入等の課税特別措置）の認定を受けています。当協会の事業にご賛同下さる企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

TIAご案内図

編集・発行　財団法人栃木県国際交流協会
住所　〒320－0033 宇都宮市本町9－14 とちぎ国際交流センター内
ＴＥＬ　028－621－0777（代表）028－627－3399（相談専用）
ＦＡＸ　028－621－0951
業務時間　8：30～17：15
休館日／日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日